



ニユース・ダイジエストラNAHA



たすきでつなぐ友情の輪 第16回那覇市児童駅伝大会

スポーツを通して子どもたちの健全な心身を育むことを目的に、恒例の那覇市児童駅伝大会が、3月7日(日)、奥武山陸上競技場とその周辺コースで開催されました。この日はあいにくの曇り空で、肌寒いコンディションでしたが、市内の小学校やスポーツ少年団の4年生から6年生までの児童85チーム847名が参加。「たすきでつなぐチームワーク」の大会テーマのもと、家族やチームメイトからの熱い声援を背に、元気いっぱい健康を競いました。



水不足を相互応援 座間味村への応援給水を開始

一日12時間の制限給水を行うなど長期の少雨傾向で深刻な水不足となっている座間味村を救おうと、市では3月10日から水事情が好転するまでの間、応援給水を行います。開始式で、翁長市長は「本島も少雨傾向が続いているが、村の人たちや観光客のみなさんが安心して生活できるように、できる限りの協力をしていきたい」とあいさつしました。今回の応援給水は、2003年4月の「県水道災害相互応援協定」締結後、初の試みとなります。

「牧志まーらびのび」の駅周辺の史跡めぐり

買い物などで便利な美栄橋駅。真新しい駅前広場に、古い石碑と歴史標示板を見ることが出来ます。さあ、ここから歴史散策「牧志まーい」に出発しましょう。
美栄橋の歴史は、浮島であった那覇と首里をつなぐ海中道路、「長虹提(安里から松山二丁目付近の約1キロ)」を築いたことから始まります。
安里から牧志までの間に架けられた三つの橋のひとつが美栄橋です。
後年、土砂や泥で埋まり、狭くて不便になったことから、1736年、新たに石橋が造られました。
そのことが記されているのが、「新修美栄橋碑」です。その後、明治時代に改修されましたが、沖縄戦で破壊され、石碑だけは、原型をとどめ民家に保管されていたのを、現在地に移しました。
また、歴史標示板には、美栄橋駅周辺の歴史と史跡も紹介されています。そこから、前島小学校の側にある前島中公園内の「泊塩田之跡碑」とまりえんでん(あとい)、「焚字炉(ふんじろ)」、「崇元寺下馬碑」、「長虹提跡を通り「張献功(ちやうけんこう)の墓」、「渡嘉敷三良(とかしきさんら)の墓」のコースで、「牧志まーい」は終了です。
また、歴史標示板には、美栄橋駅周辺の歴史と史跡も紹介されています。そこから、前島小学校の側にある前島中公園内の「泊塩田之跡碑」とまりえんでん(あとい)、「焚字炉(ふんじろ)」、「崇元寺下馬碑」、「長虹提跡を通り「張献功(ちやうけんこう)の墓」、「渡嘉敷三良(とかしきさんら)の墓」のコースで、「牧志まーい」は終了です。



4月3日は壺屋へ行こう!
たのシーサー
期間 3/30(火)~4/4(日)
壺屋でシーサーの日!宣言
4月3日(土)午前10時~
壺屋シーサー太鼓披露
壺屋焼物博物館ニシヌメー広場
シーサーの割引販売
3月30日(火)~4月4日(日)
壺屋やちむん通り
壺屋のシーサー陶工展
3月30日(火)~4月4日(日)
壺屋焼物博物館3階ギャラリー
やちむんシーサー
作り体験教室
4月3日(土)14時~16時
壺屋焼物博物館
ニシヌメー広場および屋上
参加料 1,500円
受付 4/3午前中まで切
お問い合わせ 壺屋焼物博物館 ☎862-3761



子どもを見守る巨大面シーサー 壺屋小学校の全児童が製作

昨年の11月から、育陶園の高江洲志さんらの協力を得て壺屋小学校の全校児童で製作してきた巨大面シーサーがこのほど完成しました。3月10日には全児童をはじめ、父母や仲間、教育長が見守る中、除幕式が行われました。
ファンファーレとともに、校舎の上に設置された2メートル四方の巨大面シーサーがお披露目されると、子どもたちは「すごい、すごい、ゆいレールからよく見えるね」と声を上げ、エイサー演奏や歌で喜びをあらわしました。

イベントスケジュール
10:00 オープニング
10:20 初泳ぎ
10:20 水中宝さがし
10:30 マリンスポーツ
10:30 うなぎのつかみどり
11:00 ビーチフラッグ
13:00 海のボランティア教室
14:30 ビーチクリーン
同時開催 海の知識を深めよう!
*海の環境パズル(尾)・海のボランティア教室

那覇市 波の上ビーチ 海開き 2004 4/4 (SUN)
キッズ・ビーチドッジボール大会 同時開催!!
日時:平成16年4月4日(日)10:00~15:00
場所:波の上ビーチ(若狭側)
主催:那覇市/社団法人 那覇市観光協会
お問い合わせ 那覇市観光協会 ☎862-1442

マリンスポーツを体験される方は、水着をご持参ください。
案内図



まなざしに染まる山野草 那覇市緑化センターで展示会

ニユース・ダイジエストラNAHA
すみれを中心に色とりどりの可憐な草花がそろった「すみれと山野草」展が3月6日、7日の二日間、那覇市緑化センターで行われました。リュウキュウコスミレ、絶滅危惧種のオリスルスミレ、希少種のツクスミスミレなどの琉球列島産や本土産、外国産など300鉢余のすみれのほか、オキナワチドリ、タツナミソウ、ホウサイランなどが展示され、会場は春の野山の風景。訪れた愛好家や市民はひと花、ひと花に語りかけるように顔をよせ、やさしいまなざしをおくりました。